

令和5年度第2回三鷹市交通安全推進協議会議事要旨

1 日時

令和6年2月15日（木）午後2時から午後3時まで

2 場所

三鷹市役所議場棟3階協議会室

3 出席者

委員 15名

4 欠席者

5名

5 傍聴者

2名

6 会議内容

(1) 開会

(2) 副市長挨拶

(3) 三鷹警察署長挨拶

(4) 報告事項

ア 令和5年三鷹市秋の交通安全運動実施結果報告

① 実施期間

令和5年9月21日（木）から9月30日（土）までの10日間

② 会議等

③ 広報活動

④ 交通安全講習会、教室等

⑤ 街頭指導

⑥ 道路環境の整備

⑦ 期間中の市内交通人身事故件数

発生件数 13件 死傷者 14名（死亡0名・重傷0名・軽傷14名）

イ 市内の交通事故状況（三鷹警察署）

- ・令和5年中の市内の交通事故発生件数は306件と昨年同期間比べて37件減少した。都内全域で見ると、事故件数は増加傾向にある。コロナの

制限が解除され、行動が活発になってきていることが要因と思われる。

- ・自転車の関与率が事故全体の172件ということで、全体の56.2%、半数以上を占めている。前年比で9.3%と増加傾向にある。
- ・高齢者の事故関与率は1月に53.1%と非常に高い関与率で始まったが、高齢者対策を強力に推進した結果、2月から徐々に減少し、最終の関与率は全体の106件ということで、全体の34.6%、前年比で1.3%と僅かではあるが減少した。
- ・今後も交通事故防止対策に取り組んでいくが、警察だけの力だけでは限界がある。自治体や関係団体、市民の皆様のご協力をお願いしたい。

<質疑応答>

委員：自転車の事故関与率で、自転車側でこういった属性の事故が多いのか？

子連れ、高齢者、学生など対象によってアプローチも変わってくるかと思うが、どのようにしているか。

幹事（三鷹警察署）：通勤時間帯はサラリーマンや高校生の事故が多い。昼間は、買物に出かけるお年寄り等がスーパーの近くで事故に遭うという傾向がある。それに伴い、朝の時間帯は三鷹駅につながる幹線道路で取締りや指導啓発を、昼間帯はスーパーの近くで指導、啓発活動等を実施している。

委員：子供たちの通学時間帯、登下校時に事故があったという話は三鷹市内では聞かないが、全国的に見るとやはり子供たちの列に突っ込むという事故を耳にする。三鷹市内の子供たちは被害に遭っていないという認識でいいか。

幹事（三鷹警察署）：全国的に見ると、子ども、小学校2年生、特に7歳の事故が非常に多い。1年生のときは集団で登下校しているが2年生からは、単独での登下校が増え、事故に遭う危険性が非常に高くなる。

三鷹市においては、大きな事故等は発生していないが引き続き、小学生に対する事故防止を兼ねた安全教育を推進していきたい。

委員：自転車ヘルメットについて、高校生等が大分つけるようになったが、普及率としては、以前の倍にくらいになったか？

幹事（三鷹警察署）：定期的にヘルメット着用率の調査を行っているが、なかなか着用率が上がっていない。4月に努力義務化が始まった頃は少し着用率が上昇したが、夏になると暑いということで着用率が落ちた。その後秋からは徐々に

上がってはきているが、まだ1割前後という結果になっている。

(5) 審議事項

令和6年三鷹市春の交通安全運動実施要領（案）・・・承認

ア 実施期間

令和6年4月6日（土）から4月15日（月）までの10日間

イ 実施主体

三鷹市、三鷹警察署及び三鷹交通安全協会

ウ 運動の重点

重点1 子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法
の実践

重点2 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行

重点3 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルー
ルの遵守

重点4 二輪車の交通事故防止

重点5 生活道路や通学路における歩行者等の安全確保

エ 運動のメインスローガン

～ 世界一の交通安全都市 TOKYO を目指して ～

オ 実施計画

- ① 広報活動
- ② 交通安全教室等
- ③ 街頭指導
- ④ 行事等
- ⑤ 交通安全施設等の整備
- ⑥ 違法駐車・放置自転車対策

<質疑応答>

委員：重点3について、自転車・電動キックボードとなっているが、三鷹市内で電動キックボードの普及率と安全啓発を行っているかお聞きしたい。

事務局（三鷹警察署）：電動キックボードについて、公共施設では京王線の井の頭公園駅、15台のポートができたと聞いている。その他私有地にも電動キック

ボード等のポートが出来てきている。

それに対する安全教育としては、利用者が多いであろう大学生などを中心に安全教育を推進していこうと考えている。

当署管内の電動キックボード関係は、人身事故は無いが、物件事故が2件、歩道を電動キックボードで走ったということでの取締りがあった。

委員：電動キックボードのナンバーは、市に登録するのか。

また、市で電動キックボードに関する情報や啓発等はしているのか？

事務局：市でナンバーを交付しているが、当課では具体的な数は把握していない。しかし既に三鷹市のナンバーをつけた電動キックボードが走行していること、発行があることは確認している。

啓発について、市としては、まずは自転車の対策に力を入れているのが現状である。今のところ電動キックボードが安全に走れる道路環境ではないが、すでにポートも出来始めていることから、今後、電動キックボードの安全教育というのが必要になってくることは認識している。

しかし現状では、まずは自転車の安全対策に注力している状況である。

(6) 第5次三鷹市基本計画の策定

ア 策定日（予定）

令和6年6月

イ 該当箇所

第3部 地域の特性が生きる緑豊かで快適空間の町 第4交通環境

ウ 内容（案）

3 交通安全対策の推進

(1) 自転車事故の防止

(2) 交通安全対策地区委員会との連携

<質疑応答>

委員：三鷹市では自転車の事故がずっと多いと思うが、その点を踏まえて、三鷹警察署と三鷹市ではどのようなことをこれまでやられてきて、今回、特に意識して見直したところや強化したところはあるのか。

事務局：三鷹市では以前より市独自で年に6回、自転車利用者に対する自転車安全

講習会を開催している。これまでは市の職員により、事故の注意点やビデオによる教養を行っていたが、東京都で自転車のルールが学べるアプリケーションを作成している。このアプリを活用し、新たな講習会の形で、自転車の安全啓発に努めていこうと考えている。

委員：交通安全対策の推進について、自動車事故の防止という点について、交通安全対策区委員会というのは小学校に属していて、小学生の交通安全教室や自転車教室の手伝い等をやる組織である。

先ほど自転車関与の事故では、通勤時間帯のサラリーマンが朝、お昼は買物の高齢に近い方の事故が多いとあったが、その辺りとちょっとかけ離れているかなという印象がある。

実際に、事故を多く起こしている方への対策も必要じゃないかなと感じる。

事務局：交通安全の取組については、一般の方も、小学生の子どもたちへの教育も幅広くやっていかなければならないと考えている。

それには、三鷹警察署や啓発関係機関の皆さんとの取組み、子どもたちには交通対の皆さんとの連携、それぞれ組合せながら、三鷹の交通安全、自転車事故の防止に努めていきたいと考えている。

質問の内容は重々理解しているので、今後もこういった取組みを継続していきたいと考えている。

事務局（三鷹警察署）：昨日（2月14日）も、バレンタインストップ作戦ということで、三鷹駅南口で大成高校の女子バスケット部の生徒さん16名と交通安全協会女性部の方々と一緒にチョコレートを配布し、あわせて自転車利用安全五則を広く呼びかけ、キャンペーンを実施した。

引き続き、関係各所と連携しながら、広報活動を実施していきたい。

委員：少し前になるが、大沢コミュニティ・センターで高齢者向けの自転車教室を三鷹警察と一緒にやらせていただいた。要望があれば、対応していただけるのか。

事務局：大沢コミュニティ・センターでの自転車実技教室と同じような形で、ほかの関係団体からも依頼を受けて、自転車実技教室を実施している。

また、保育園や小学校からの依頼により個別に安全教室も行っているのですが、市の都市交通課でも警察署でも結構なので、お声がけいただきたい。

(7) その他

< 質疑応答 >

委員：武蔵境通りの自転車道に、今年は結構、草が自転車道まで伸びていた。自転車道をせっかく整備していただいたからこそ、ゴミだけじゃなくて、草なども見ていただけると市民としてはとてもありがたい。

また、そういった連絡を電話も日中はなかなか難しいので、簡易的に市にお届けできる、メールアドレスがあるとうれしい。

事務局：武蔵境通りについては都道だが、市道に関しても同じように草が伸びているというような苦情や要望を受けることは多い。管理する範囲というか距離が、かなり延長が長いこともあり、順次造園業者が作業を行っているが、タイミング的にちょっと合わない部分もあったのかと思う。市も道路パトロールカーが走っているので、そういったところは見ながら対応したいと思う。

また、要望苦情等の窓口について、三鷹市へ電話いただくのが一つの方法としてあるが、それ以外にも、三鷹市のホームページ上で要望を受けられるところがあるので、そちらに記載していただければ、都道のことであっても、三鷹市から東京都にお伝えすることもできる。

(8) 閉会